

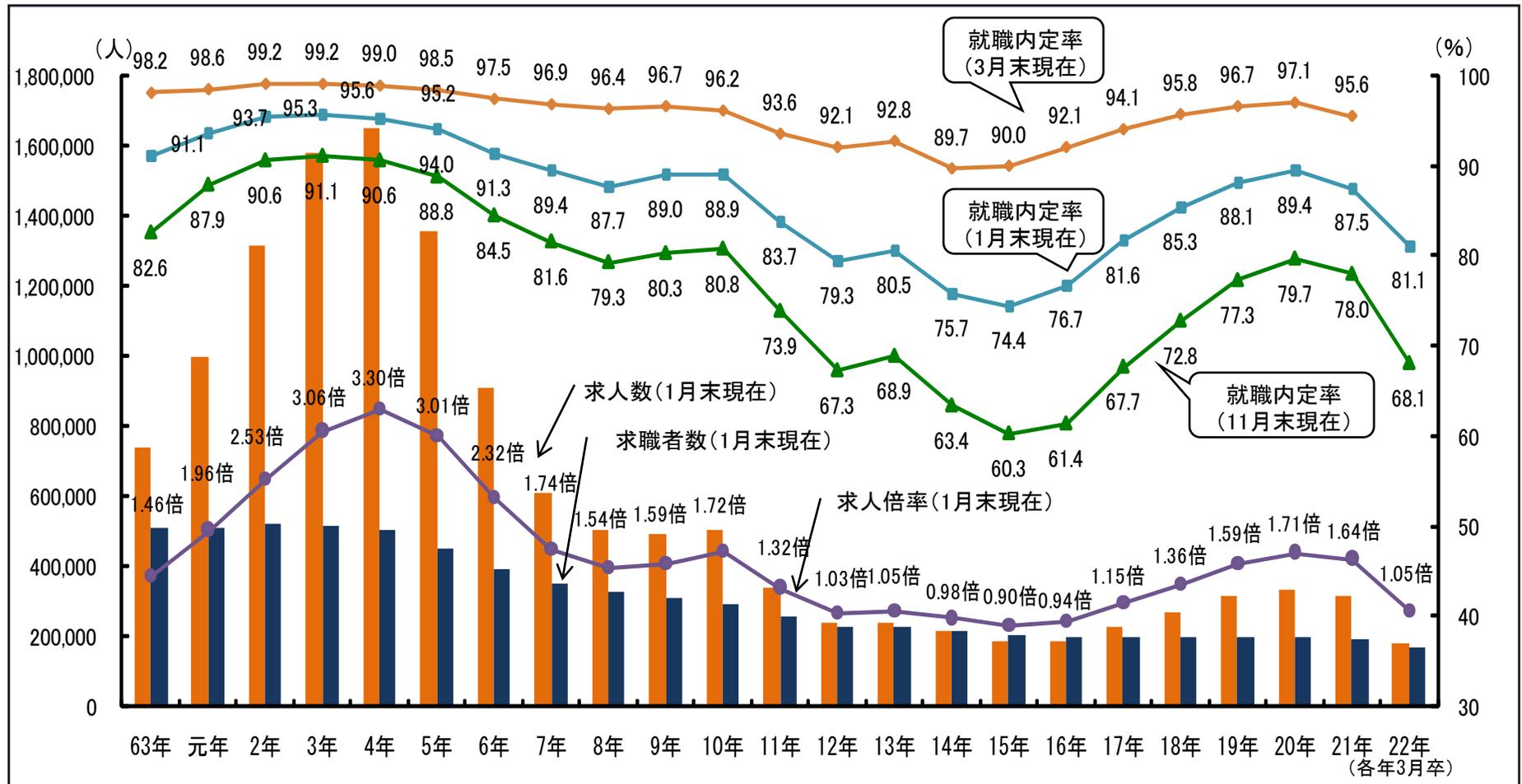
若者の就労支援について

平成22年3月

厚生労働省 職業安定局

新規高校卒業者の求人・求職状況の推移

- 今春（平成22年3月）の新規高卒者の就職環境は、引き続き非常に厳しい状況（1月末現在）。
 - ・ 就職内定者数は13万1千人で、11月末から1万7千人増加。前年同期に比べ19.4%減少。
 - ・ 就職内定率は81.1%で、11月末から13.0ポイント上昇。前年同期を6.4ポイント下回る。
 - ・ 求人倍率は1.17倍となり、11月末から0.12ポイント上昇。前年同期を0.55ポイント下回る。



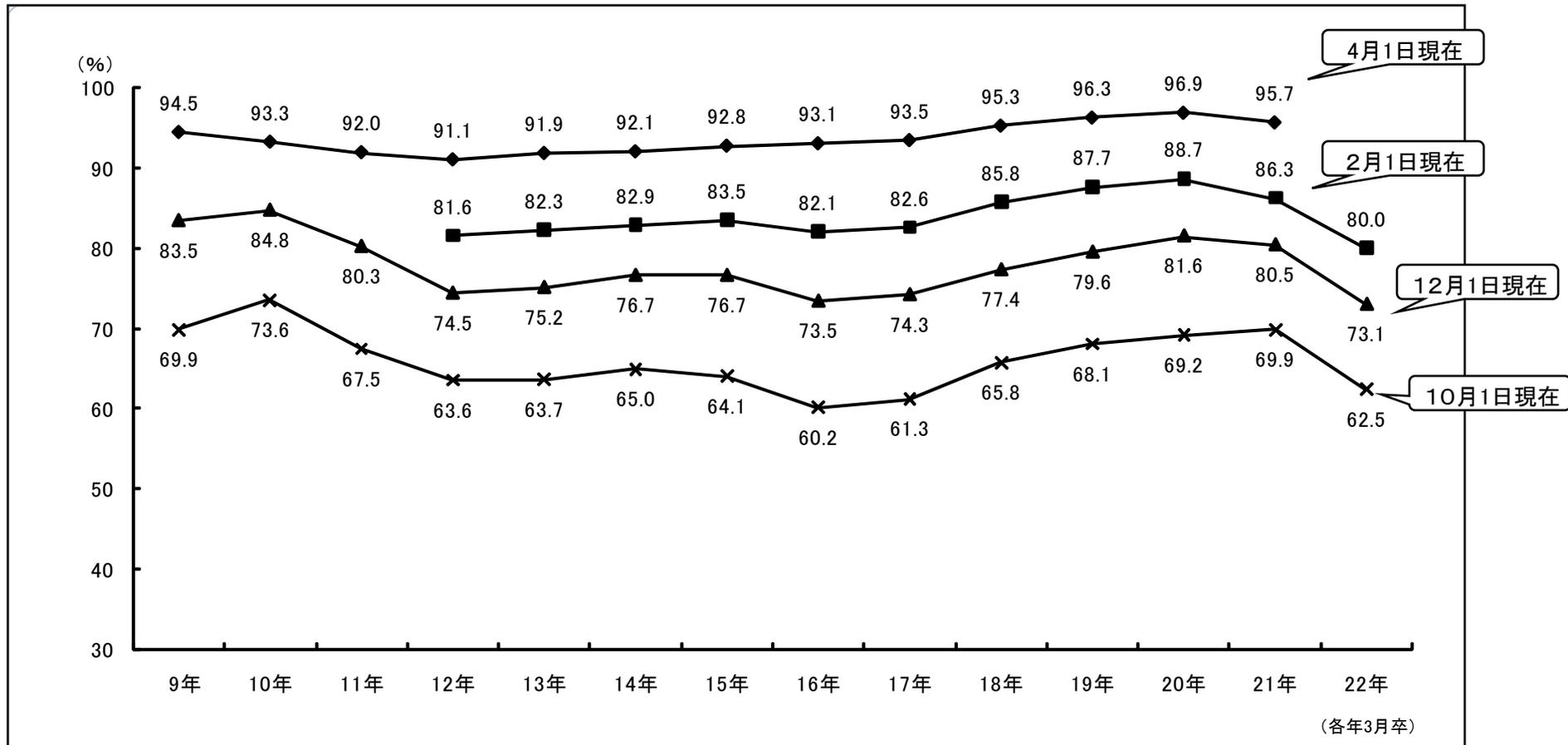
(資料出所) 職業安定業務統計

(注) 求職者数とは、学校又は公共職業安定所の紹介を希望する者の数

新規大学卒業者の就職状況の推移

- 今春（平成22年3月）の新規大卒者の就職環境は、引き続き厳しい状況（2月1日現在）。
 - 就職内定率は80.0%で、12月1日現在から6.9ポイント上昇。前年同期に比べ6.3ポイント減。

（参考）就職内定者数（推計値）は32万4千人で、12月1日現在から2万2千人増加。
 （注：学校基本調査（速報値）により卒業予定者数を推計した上で、就職内定者数を推計）



（資料出所）「大学等卒業予定者就職内定状況調査」（厚生労働省・文部科学省）
 （注）内定率とは、就職希望者に占める内定取得者の割合。

大卒求人倍率(規模別)の推移

- 平成22年3月卒業予定の新規大学・大学院卒者の求人倍率は1.61倍と、前年から0.52ポイント低下。
- 従業員1,000人以上の企業の求人倍率は0.55倍、1,000人未満の企業は3.63倍となっており、特に1,000人未満の企業における採用意欲は高い。

従業員規模別大卒求人倍率の推移

